

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	親子のがっこう			
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日		～	2024年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児童発達支援 17名 放課後等デイ 21名	(回答者数)	児童発達支援 12名 放課後等デイ 10名
○従業者評価実施期間	2024年 10月 24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12 月23 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムを個々の発達に合わせて提供することができる。	個別単位での支援をおこなっている	職員間で支援内容についての検討をおこない、より適した課題をおこなっていくようにする。
2	子どもの特性に応じた専門的な支援を提供することができる(療育に携わっている経験年数が常勤職員全員が10年以上であること)	・10年以上の経験がある職員が配置できていること ・経験や知識がある ・職員間での話し合いを多くとり、子どもの理解、教材の提供につなげている。	・研修の機会があれば参加し知識や技術を高めていく。 ・他事業所への見学をおこない、視野をひろげていく。
3	子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達について共通理解する時間をとりやすい。	療育をおこなっている様子を保護者にみってもらうことや、児童発達管理責任者が保護者からの話を聞く場を作っている。	必要に応じて、心理士が対応する時間を設定する(保護者への周知)

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が少ないこと。	個別療育を中心としている(保護者からの希望が個別希望が多い)ため、他児やその保護者と会うことが少ないため。	・保護者からの要望があれば保護者同士が集まって話をする場をつくる(茶話会的な) ・長期休みのときの集団の行事に参加していただく。
2	町内、近隣地域での認知度が低いこと	行政や保健師、園の先生などに対して、事業所のできることをつたえきれていない。	保育所等訪問支援の機会を通して園の先生からの相談を受け、関係性を高めていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 親子のがっこう (児童発達支援)

公表日 2024年12月 23日

利用児童数 2024 年 8 月 1 日

回収数 12

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12				お借りしているお部屋なので、改修や増築することは難しく、限られたスペースの中での確保となってしまったため、お子様によって使うものを出すように配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12				ギリギリの職員配置にはなっていますが、お子様に一人に1人配置できるよう時間の調整をおこなっています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	2			部屋の中は段差等少なくなるよう配慮していますが、体操や運動等が行える場所には事故防止のためマットを引いているため、段差が生じてしまいます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12				喚起や消毒等実施していき、引き続き清潔な空間を維持できるように努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12				引き続き、お子様の特性や成長に合わせて、たのしく療育を受けることができるよう興味のわく教材を提供してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12				提供していく支援の内容に関しては保護者の方とも相談しながら一緒に考えていきたいと思っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12				ニーズをしっかりと把握していくためにも保護者とお話をする時間を大切にしていきます。
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12				・ガイドラインを詳しく知らない。 ・先生たちが下さるプリントは知っている。 ・息子は、先生方のおかげで自己肯定感がすごく上がり、自信がついてきた。
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	12				個別療育を希望されて利用されているので、交流がされたいといった要望を聞いていません。今後希望が多くなれば検討していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12				・子の状況に応じて、内容を細かく調整、設定していただいている。
保 護 者	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	1	2	・集団のときに会える
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12				契約をするときに口頭で説明をさせていただいております。また、利用料に関して、就学後も継続した利用を希望される方は、就学前に利用の有無についても再度確認をさせていただいております。
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12				計画書については、口頭説明をしながらもじっくりと読んでいただけるよう、お子様を療育している間に渡すように心がけています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	1	1	・話をすることで対応方法を伝えてもらっています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12				・とても良く聞いてくださる。 ・話しやすい
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12				・いつも助けてもらっている。感謝です。 ・子の状態が理解しやすくなり、理解することで関わり方が変わった。説明をしていただいたことで理解ができたことがうれしかった。

への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12				・感謝しかない。	子育て経験のある職員ばかりなので、育児についての話がしやすくなればよいなと思っています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	1		・子ども食堂などについて教えてもらっている。	年齢の近いお子さんと集団をしているときは、保護者同士でお話をして待ついただくことも可能ですし、きょうだい支援には力をいれていますので、一緒に連れてきてくださるのは今後も大歓迎です。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9					相談があったときは、必要に応じて心理士との相談につなげるようにしています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					・子の状況、親の気持ち、疑問などタイムリーに細かく聞いてくださり、フォローがあるので、とてもありがたい。	疎通しやすい雰囲気作りを今後もできるよう配慮していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	3		1			活動の概要などは、お子さん一人一人違う課題設定になっているため今後もお知らせをしていく予定はありません。特別行事などがある場合は、対象となるお子様ごとに案内をさせていただいております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9						同じ園で同じクラスのお子様同士が重なるときはその都度、保護者の方に相談させていただいております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1		2	・詳しくはしらないが、先生たちのお話はしっかりきけるので、大丈夫だと思う。	避難訓練に関しては、病院と合同で実施しているため、療育の時間が重なったお子様については一緒に避難の訓練をしていますが予約の時間帯的に同じ利用者様になりがちなのが今後の課題として検討していきます。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	2		2	・先生たちのお話はしっかり聞けるので大丈夫だと思う。	避難訓練等は、病院と相談しながら半年に一回継続して実施していきます。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1				安全には配慮しながら対応をしています。療育中にきょうだいが遊ばれていることが多いですが、別の職員が見ていることが増えてきました。保護者の責任でみていただくよう周知していきたいと思っています。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	2		1	・ケガや事故がない。普段から何かあった時は、詳細を伝えていただいているので、全く不安はない。	事故報告書を作成し、保護者の方にも書面でお伝えしていくように配慮していきます。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9					楽しく来所できる雰囲気づくりに心がけていきます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9					楽しみにして来所してくださっていることに感謝です。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					保護者の方と一緒にお子様のことを考えながら、一緒に成長していける場であるように今後も支援にあたっていきます。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 親子のがっこう（放課後等デイサービス）

公表日 2024年 12月23 日

利用児童数 2024年 8 月 1 日

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11					お借りしているお部屋なので、改修や増築することは難しく、限られたスペースの中での確保となってしまうため、お子様によって使うものを出すように配慮しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11					ギリギリの職員配置にはなっていますが、お子様に一人に1人配置できるような時間の調整をおこなっています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などがバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	1				階段が難しい場合は、お迎えに駐車場まで行かせていただいております。トイレには手すり等設置しています。
適切 な 支 援 の 提 供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	10					ニーズをしっかりと把握していくためにも保護者とお話をする時間を大切にしています。
	5 活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	11					個別療育中心であるため、プログラムにおいては、みなさんそれぞれに違いますので固定化されていません。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	5			わかりません	親子のがっこうへのニーズが個別療育になっているため、必要なお子様は交流する機会は別のところで経験をされている方が多いです。交流されたりしている様子についてはお話をきかせていただいております。
保 護 者 へ の 説 明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11					放課後等デイサービスを18歳まで使い続けるのではなく、目標や支援内容に沿った利用の仕方を提案しています。終了についての時期や目安を見通しやすい説明をできたいと思います。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11					課題後には振り返りの時間を設けています。1か月に1回のお子様が多いため、学校の様子は必ず聞くように徹底していきたいと思います。
	9 保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援がおこなわれているか	11					家庭や学校生活、地域の中での様子を聞きながら、様々な相談にのれるよう相談援助力を高めています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	5	1		わかりません	集団や特別行事の時には、保護者同士の交流の場としてお話をさせていただいています。長期休暇に行事を組むことが多いのですが希望があれば増やしていきたいと考えています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1				苦情につながらないようにしっかりと説明をしていくことや、保護者との関係づくりが大切だと考えています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11					生活の中で困っていること等あれば相談していただけるよう、保護者の方と話す時間を設けています。また、個別療育を行っている中でも、お子様と話す時間を設定するようにしています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	3			わかりません	行事等に関しては掲示と個々にお知らせの紙を配布しております。漏れないよう注意しながらお知らせ等してまいります。
14 個人情報に十分注意しているか	11					なるべく同じ小学校同士のご利用が重ならないように配慮していますが、時間の変更等難しく重なってしまう場合は、保護者の方に了承をいただいたり、部屋を区切りなどしています。	
非常時	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	1	1			ファイルにとじて絵本と一緒に棚に置いていますが、見られている形跡はないので、ファイルではなく、ラミネートしてリングでつづるなど変更していこうと考えています。

等 の 対 応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他の必要な訓練がおこなわれているか	7	3	1		わかりません	平日の病院が休診時間に避難訓練をおこなっているため、放課後等デイサービスの時間帯での訓練は難しい状況になっていますが、地震を想定した訓練等集団場面の中で実施していたらと考えています。	
	満 足 度	17	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10					楽しみに来所されることのできるような関わりを今後もしていけるよう努めていきます。
		18	事業所の支援に満足していますか。	10					今後ともご家族やお子様にとって満足していただけるよう努めていきます。

公表における自己評価結果

事業所名	親子のがっこう		公表日	2024年12月23日	
	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	部屋数に応じた予約の人数にしています。運動などのOTが関わる場合は大きな部屋を使うなどお子様の支援内容に沿った部屋を使用するようにしています。	限られたスペースの中で、お子様に必要な支援が提供できるよう部屋の使い方、物の置き方など環境の調整を図っていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	お子様に対して必ず一人つくことができる配置での予約をおこなっています。	職員配置の関係で、保育所等訪問支援に行く日が昨年度より少なくなっています。訪問にいける体制を整えていこうと職員を募集していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	立位が難しいお子様もご利用くださっていることやジャンプなどの運動での怪我防止のためにもセラピー用マットを敷いています。	床がすべりやすいため、運動するときは靴下を脱ぐなど転倒予防を徹底していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	感染症防止のために喚起や消毒は継続しておこなっています。	排せつ物や吐しゃ物など処理するときに手袋の着用の徹底をおこない、感染を広げないよう共有をしていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	利用始めの頃など課題に応じることが難しいお子さんや、思い通りにならない時に暴れたり物を投げてしまうお子さんがご利用される時は、その時間帯には他のお子さんの予約を取らないように配慮しています。活動しやすい場所や安心できる場所の確保に努めています。	午後の利用希望の方が現在増えてきていることで対応が難しい時間帯もでてきています。午前などに来ていただける対応しやすいことを伝え、ご家族の仕事の調整などお願いしていきたいと考えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	ご利用後に職員全員で話す時間があるため、次のご利用時はどのような支援をしていくのか、課題を設定していくのか話し合うことができます。	引き続き一人一人のお子様に応じた支援内容を提供していけるよう、職員全体で考える、振り返る時間を確保していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	要望などご提案して下さることや、一緒にアイデアを考えて下さる保護者の方が多く、意志の疎通がしやすい雰囲気であると感じています。	今回のアンケートでも伝えつつも両面でお渡ししたことで裏面のアンケートに答えておられない保護者の方がいらっしゃいました。裏を見せて伝えるなど、伝え方の工夫(伝わりやすい伝え方)に配慮していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	職員数が少ないため、意見として反映しやすく、話や共通理解がしやすい環境であると思っています。	職員数が今後増えてきたときの共通理解や意見を聞く場所等配慮していく必要があると考えています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	評価を外部に依頼はしていませんが、色々な関係機関の方が足を運んでくださり、色々なご助言をいただく機会が多くあると感じています。	風通しのよい事業所であるように努めていながら、色々なご意見等頂戴したいと思います。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	職員が研修や会議に参加した場合は、必ず、参加できていない職員に振り返りも含め、事業所内研修として共有するようし、資質の向上を図っています。	ワークライフバランスに取り組みながらも技術力向上や知識の幅を広げていくことができるよう学びの場を確保していきます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	当事業所では、個別療育を一緒に見学、参加して下さる保護者の方が多いため、支援内容を把握していただければいい環境であると思っています。	目標を達成した場合には、保護者のご意見も踏まえながら次の目標や次のステップにつなげていくことができるよう今後も保護者との意思疎通を大切にしていきたいと思っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	保護者のニーズを聞き取る中で、課題を分析、細分化させていくことで、達成しやすい個別支援目標を立てるようにしています。	アセスメントに時間をしっかりと今後もかけていきたいと思っています。	

13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	職員が少ないことが、メリットなので職員全員でお子様一人一人の計画と一緒に考える時間をつくっています。	多職種で話し合うことでよりよい支援に結び付けるように今後も全職員でも話しあいができる時間を確保していきたいです。
14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	支援に携わる職員の意見や支援方法なども反映できるように、担当する職員がチェックしてから保護者へ計画の説明をするようにしています。	引き続き、職員が個別支援計画を把握したうえで支援に当たることができるよう配慮していきます。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	必要に応じて、研修を受けた職員がツールを用いて評価をとるようにしています。	全職員が扱えるように、職場内研修を活用して習得していけるようにしていきたいと考えています。
16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	家族支援に関しては、親子のがっこうは特に力をいれて支援していきたい個所なので、全利用者のご家族に対して提供しているため、目標として掲げていませんが、特記事項の欄に記載しています。また、地域支援に関しましても、地域の保健師、保育園、小学校と情報を共有するよう努めています。	今後もより分かりやすい、具体的な支援内容となるよう文字のフォントや書体にも配慮しながら作成していきます。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	基本個別療育なので、担当職員がプログラムを考えていますが、児童指導員と作業療法士が分担しておこなうおこさまに関しては、課題がかぶらないよう何をやるのか把握するように努めています。	どの職員もプログラムを立案できるベテランの職員ばかりですが、より質の高い支援を提供できるよう勉強を積み重ねています。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	お子様によっては、体操などの体幹トレーニングやビジョントレーニングなど継続して行った方がよい場合もありますが、その日のお子様の状況により減らしたり追加したりしながらおこなっております。個別支援計画に沿ってお子様の発達に合わせた支援を提供しているため、固定化することはありません。	目標をもって毎回支援の提供をしていますので、安心してご利用いただければと思います。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	必要なお子様にはお互いの保護者に確認をとりながら、個別療育の何課題かを友だちと一緒に取り組むなど個別支援計画に沿って支援しています。	個人情報に留意しながら保護者の同意を得た上でのお友だちとの活動になるよう今後も配慮していきます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	児童指導員と作業療法士で分担して個別療育を実施する場合は何分で交代するのか部屋はどちらを使うのか、どんなことをするのか、新しくおこなう課題内容等について共有してから支援にあたっています。	今後も職員人数が少ないメリットだと捉え、話をすること、チームでお子様、ご家族を支えていくことができるよう、支援の質を高めています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	子どもの様子について終わってから情報を共有することは必ずしています。また、関わりの中でうまくいかなかった場合など、話し合い次の支援につなげられるようにしています。また、家族の状況やお子様の家庭や園での様子も全員で共有しています。	今後も職員の質を高めていくためにも振り返りに活かしていくことを繰り返しおこなっていきます。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	支援の記録に関しては保護者にも確認をしてもらい支援の振り返りをしています。また、希望される方には保育園や小学校にもコピーをお渡ししています。	今後も職員の質を高めていくためにも振り返りに活かしていくことを繰り返しおこなっていきます。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	計画を作成する2か月前にはモニタリングを挟み保護者の意見や支援の共有を行い次の計画の見直しをおこなっています。	モニタリング時期でなくても必要があれば話し合いをもち、課題の見直しを今後もおこなっていきます。
24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	ご本人の好きなことを増やしていけるような色々な活動や遊びを提案し余暇支援につなげています。また、生活の中で一人でできることや生活スキルを高めていくことを重点的におこなっています。	お子様の自分らしさを大切に支援に努めていきたいと思っています。

25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	課題の中で何をしたいのか、自分で何が困っているのか等考える力や気づく力を支援しています。また、必ず最後のあそびは自分で決めることができるよう配慮しています。	自分で考える力を高めていくことや発信していく力を高めていけるよう今後も支援していきます。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	職員の人数配置の関係で外部に赴く会議には児童発達管理責任者が基本参加しています。全利用者の状況は職員間で共有しているため全職員が把握できています。	会議後の情報の共有や整理、支援の見直しを職員間で共有していけるよう引き続き配慮していきます。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	小児科の2階をお借りして運営していることもあり、保護者から依頼があれば、診察に同行させていただき、医師に最近の様子をお伝えすることもあります。また、保育所等訪問支援に行かせていただいている園では情報の連携がしやすい体制になっていますが、小学校との情報共有は難しいのが現状です。	保護者の同意は必要ですが、個別支援計画を学校や保育園にお渡しできることをお伝えしていると思います（すでにお渡しできる機関もあります）
28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	センターとの連携はありませんが、お世話になっている事業所で、親子のがっこうにない言語面での相談を言語聴覚士に助言をうけることはあります。	センターとの連携はありませんが、小児科や保健師、町の相談事業等との連携を今後も図っていきます。
29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	保護者の方のこちらへのニーズが個別療育を利用されにいられている方なので、地域交流は考えていません。地域の行事などお子様の興味などに合わせて情報をお伝えしています。	ニーズがあれば考えていこうと思います。
30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	どんなことができるようになってきたのか、またできるようになったことで家庭の中での変化などをお聞きしながら、療育の内容に反映するようにしています。報酬改定により子育てサポートも創設されたことでより、保護者とのやりとりの時間が増えています。	保護者の方と一緒に成長を喜び合える関係性を構築していく中で、しっかりとニーズを把握していく対応力をみにつけていきます。また、今後たくさんの方に動画等みせていただき一緒に思いを共有していきたいです。
31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	家庭での困り感や、できてほしいことのニーズに合わせて、まずは親子のがっこうで練習をしていくことを提案しております。事業所での様子をみながらできるようになったり、関わり方等をお伝えし家庭への汎化を目指しています。	保護者の方の要望をくみとれるような関係性を築くことが最も大切だと考えています。相談しやすい雰囲気や関係性の中で家庭で取り組めそうな部分から支援の提案をしていきます。
32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	親子のがっこうでは、目標を決めて達成すれば終了し地域への移行をすすめています。特に、小学校後は利用後2年程で終了される方が多いです。	終了するときの保護者の不安は大きく、いつでも相談できる体制を整えています。必要であれば文書でお伝えしていこうと考えています。
33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	特別支援学校との移行は会議を開催していたださっているので参加しています。また、小学校へ入学する際には必要に応じて文書で保護者に渡し、園から小学校へ渡してもらうようにしています。	教育委員会と連携を図っていこうと考えています。
34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。		
35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		
36	【児発センターのみ】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		

関係機関や保護者との連携

	37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	保護者同伴で来所されるため、学校で難しい操作等相談して下さっていますので課題として取り入れています。	保護者とお話することを大切にしているため、送迎は考えておらず、保護者同伴をお願いしていきます。
	38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	基本的には児童発達支援をご利用された方たちの小学校後のフォローとして放課後等デイサービスを開所しているため継続した支援ができています。	希望があれば以前ご利用されていた施設と情報の共有をしていきます。
	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	中学校までのお子様が多いので、事例としては少ないですが、移行された方には文書で支援内容をお伝えしました。	希望に応じて提供等していきます。
	40	【放デイのみ】 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	地域で自立支援協議会が開催されていないため、参加ができていませんが、療育を考える会や、教育委員会が主催されている会議等には必ず参加するようにしています。	お声がかかれれば積極的に参加していきたいと考えています。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	契約の時、児童発達支援から放課後等デイサービスに移行するときには説明しています。	契約時の説明で分からなかったこと等あればその都度聞いてもらいやすい関係性を保護者の方と作っていきたくと考えています。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	お子様の成長に合わせて、保護者の思いを聞きながら作成するようにしています。モニタリングでは必ず保護者の意見を聞き、次の個別支援計画に反映しています。	療育に來られたきっかけとなる思いをしっかりと汲み取り、計画に反映していけるようにしっかりとお話をお聞きしていきたいとおもいます。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	文書を見せながら口頭で説明するように努め同意のサインをいただいています。	読む時間を確保できるよう配慮していきたいと思えます。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	毎回保護者の方とお話する時間を設けるようにしています。	今後も話をしっかりと聞く時間を確保して一緒に考えていきたくと思っています。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	保護者同士の交流の機会を設けてはませんが、集団活動場面では同年齢のお子様同士で組むため療育の時間にお話しをされて待たれていることが多いです。	仕事の都合をつけて療育に来てくださっている方が多く保護者間の交流時間まで確保をお願いすることは難しいですが、希望される保護者の方があれば少人数での開催を検討していこうと思えます。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	苦情の窓口に関しては、契約時に説明し、お住まいの地域の窓口も伝えるように案内しています。	苦情マニュアルに沿って的確に苦情の内容を把握して対応していきたいと考えています。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	平日の閉所日や放課後等デイサービス開所（土曜日）、行事日は掲示して伝えています。また、予約をとるときに合わせてお伝えするようにしています。	ホームページの更新ができていない月もあるため、忘れずに毎月更新できるよう努めていきます。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	見学时や契約のときに、保護者の方へ同じ地域の方と重なる時間帯等へのご意見をお聞きするようにしています。	今後も個人情報に十分注意しながらお話をしていこうと思えます。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	保護者の方によって、伝え方を変えています。紙面で次の予約日をお渡しする方や忘れやすい方には前日や当日の朝にご連絡を入れるよう配慮しています。	利用日の確認を毎回忘れずにおこなうことや、メールやチェック用紙などを活用しながら情報の伝達を引き続きおこなっていきます。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	見学を希望される方には、個人情報に配慮しながらいつでも来所頂いています。	相談支援事業所や保健師、家庭相談員などできて下さっていますので引き続き、開かれた事業所でありたいと考えています。
51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	保護者同伴での来所をお願いしているため、家庭の様子や学校での様子を聞くことができているため、難しい操作など課題として練習ができるようにしています。	家族の悩みや本人の困りごとを今後も話の中から汲み取り支援していきます。	
52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	各マニュアルは策定していますが、保護者への周知は薄いことが分かりました。	保護者の見えるところに掲示するようにしていこうと考えています。	

非常時等の対応	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	病院と一緒に半年に1回訓練をおこなっています。	非常時に備え安全に避難できるよう引き続き机上と実地訓練をしていきます。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	契約時に確認しています。また、体の不調等について来所されたときに保護者の方と話をするようにしています。	てんかん発作のあるお子様の利用時は転倒したときのことを考え引き続き環境の調整に努めていきます。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	親子のがっこうで食事をすることはありません。お菓子を提供する場合でも保護者の監督のもとで食べるようにしています。	今後も食事をとる予定はありませんが、契約時に確認することと、日々の話の中で聞き取りを引き続きおこなっていきます。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	安全計画は作成していませんが、ヒヤリハットをもとに再発防止にむけた話しあいや環境の調整をしています。	雪の日や雨の日は入り口の階段が滑ることが想定されるため、安全に昇降できるよう今後も注意していきます。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	安全計画の作成はしていませんが、お子様によって配慮すべきところはご家族と共有するよう努めております。	必要であれば作成をしていきます。送迎に関しては今のところ実施予定はありません。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	あぶなかったことについても、療育終了後話をする時間を確保しています。	話し合いをしてもヒヤリハットとして報告することが少ないため、意識するよう声かけをしていきます。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	虐待の研修があれば必ず職員一人は受講できるよう配慮しています。	研修の機会を確保していきます。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	まだ、事例としてはありませんが、マニュアルに沿って実施していく予定です。	保護者と同意をとるまえにもしっかりと保護者と話し合いながら進めていきたいと考えています。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	親子のがっこう		
○保護者評価実施期間	2024年 10月1 日		～ 2024年11 月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2024年11 月1 日		～ 2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	2024年 10月 1日		～ 2024年11 月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2	(回答数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月20 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に応じた具体的な助言をすることができています。	個別療育で関わり、字の特性や発達段階を的確に捉えるようにしています。	その場で提供できる関わり方や支援グッズなどを提案できるようにしていきます。
2	園や学校の中での普段の様子を客観的に評価することができています。	園や学校の先生と保護者の方の困り事に合わせ、訪問する時間を決めていきます(保育園であれば、食事時間や自由な遊び時間、お着替えの時間、設定保育など。小学校は、保護者がみてきてほしい授業など)	非常勤職員を確保し、ニーズに合わせた時間に行くことができる体制づくりをしていきます。
3	専門性を活かした助言を行うことができています	作業療法士や公認心理士による訪問に特化しています。	知識や技術を高め、より分かりやすく、伝えていくことや、支援のバリエーションを増やしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問頻度の確保が難しいこと(児に対して月1回が限度であること)	職員の確保が難しいです。	訪問頻度が必要な児に対応できるように非常勤職員を確保していきたいと考えています。
2	保育所等訪問支援による連携の仕方について共有できていない園や学校もあること	園や学校側が訪問されることに身構えられてしまうこともあります。	会議などで顔を合わせる機会があるため、事業所をしつてもらうことや交流しやすい関係性をつくっていきます。
3	必要性のある児に対しての保育所等訪問支援がつかうまでに時間が要すること	個別療育から利用を開始するケースが多く、担当者会議がないことから相談支援事業所とのやりとりが少なくなってしまうことや、次の切り替えまで待つことが多いため、	相談支援事業所での計画時に必要性の有無について確認をしていきます。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	親子のがっこう
------	---------

公表日 2024 年 12月 23 日

利用児童数 2024 年 11月 20 日 回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4					親子のがっこうの課題で使用している教材をもっていき、実際に子どもとやっている様子を見ていただくこともあります。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4					部屋数が少ないため、時間帯で別の利用者さんがいるときは、顔を合わせてしまう場合がありますが、他の人に会いたくないといわれる方には、利用者がいない時間帯などで面談をします。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4					保護者のご依頼のもとに支援ができることなど分かりやすくお伝えするようにしています。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4					保護者の方に園に行く日であるかどうかをお聞きしてから園との日程調整をするようにしています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	4					保育園での困りごと等に合わせ、作業療法士が公認心理士が対応するようにしています。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	4					親子のがっこうでの個別療育の様子も合わせながら特性や発達に合わせた助言をしています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	4					訪問してきてほしいところの目的をしっかりととききとり、個別支援計画に反映するようにしています。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	4					親の思いをしっかりと訪問先にお伝えするようにしていますが、園のご意向も聞き取っていかうと思っています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	4					保護者、訪問先への説明をしっかりとしていきます。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	4					評価をおこないながら、訪問の頻度を決め実施しています。行く目的をしっかりと計画と合わせていこうと思っています。
保 護 者 へ の 説 明	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	4					行事などを先に何うようにしていますが、訪問できる日が限られているので、なるべく早く予定の確認をするように努めるようこころがけています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					放課後等デイサービスや児童発達支援をご利用されている利用者のみなので、契約時におこなっています。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					計画の説明は書面をみながら口頭での説明をおこなっております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3				1	療育に来られた時に、保護者の方にも関わり方をみていただけて、家庭でも実践していただくようお願いしたりしています。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	4					個別の療育にこられたときにお話しをしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					毎回保護者の方が付き添いで来られている方がほとんどなのでお話できる時間を確保できています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	4					しっかりと保護者とお話することを大切に関わっていこうと思っています。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					相談事で必要があれば心理士の先生につなげることや町との連携も取るように努めています。

等	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					子どもさんがいる場所でお話しくく時間もありませんが、電話やメールでも受け付けていますし、病院の個室をお借りすることもできますので、その都度いついただければと思っています。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4					訪問先ではお話をする時間を確保できるよう毎回務めています。担任の先生と話ができない時は、園長先生に伝えるなどしています。また次の訪問時に話ができる時間帯で訪問できるよう配慮しています。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4					計画を見せて支援の内容を説明するように努めています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4					訪問後来所されたときにお時間をとって説明をすることと、文書での記録の確認をおこなっています。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3			1		ホームページでの業務に関する掲載はするようにしていますが、お子様が特定されてしまうことや活動の内容等は個々で違うので掲載はしていません。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					訪問先での発言には細心の注意をしながらお話をしていきます。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4					訪問先でおこったときのことはまだ未連携です。今後話し合いをおこなっていきます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					怪我等起きないよう環境・安全の配慮は欠かしていません。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4				大喜びです。	子どもたちの好きなことを取り入れつつ楽しい雰囲気の中で支援できるよう今後も努めてまいります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	4					保護者としっかりとお話をして子どもの成長を共有していくことを大切に運営を今後もしていこうと思っています。

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日 2024年12月23日
親子のがっこう	利用児童数 2024 年 11 月 1 日 回収数 2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2			・丁寧に説明して下さるので、具体的にわかりやすいです。	お子様の発達段階に応じた合理的配慮の中でできることや支援方法を伝えていくことができるよう具体的に示していきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2			・知識も豊富で的確にアドバイスして下さり、質問や困りごとに対しても丁寧に教えてくださいます。	分かりやすい提示方法を常に意識して訪問していきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2			・知識も豊富で的確にアドバイスして下さり、質問や困りごとに対しても丁寧に教えてくださいます。	質問に即した回答ができるよう先生方の伝えたいことをしっかりと把握していくことを大切に関わっていきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2			・訪問日に尋ねてみたいことをまとめ、質問することで解消につながっています。	保育の中での悩みひや困りごとを共有していく中で一緒に考え一緒に支援していけるよう心掛けていきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2				忙しい中お時間を作ってくださっている園の先生に感謝です。今後も関係性をしっかりと築いていきます。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・様々な発達障害やグレーゾーンの子供たちが増えてきている中、保育所等訪問支援事業所の訪問は、園での生活の困り感や療育の内容等を話し合うことで、園での手立ての仕方を参考になり、保育に活かしています。</p> <p>・とても親身にいらって相談にのってくださり、とても助けていただいています。忙しい中、園まで訪問くださることも助かり、担任も直接、相談でき、保育の中での関わり、悩みが軽減されておりありがとうございます。</p>						

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	親子のがっこう			公表日	2024 年 12月23日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 運営・ 体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1		教材に関しては、親子のがっこうで使用している教材を持参して実施することが多いですが園の中での教材を使用してもできるような汎用化させていこうと思います。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1		職員数が少ないため、希望通りに利用できないことや、園の都合と合わないときが多いため、職員数を増やせるよう募集をかけていこうと考えています。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1		訪問時の様子を全職員で共有するようにしています。	今後も引き続きおこなっています。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1		評価表も活用していますが、毎回来所されたときに色々助言や改善した方がよいところなどをおっしゃってくださる保護者の方が多いありがたいです。	できることは改善していこうと考えています。また、改善してほしいところを話していただける関係性を構築していきます。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1		職員が少ないため、職員の意見を反映しやすいため、業務改善につながっています。	職員数が少ないため、今後も全職員で話をする機会を大切にしていきます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1		外部への評価は実施していません。	第三者による外部評価を実施する予定は今のところかんがえておりませんが、今後も医院の先生を含め外部の教育関係や福祉関係の方々に見ていただく機会があるため、ご意見をちょうだいしていきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1		研修を受けた職員が必ず、後日、受けていない職員に振り返りとして報告する時間を設け、知識の共有を図っています。	今後も資質の向上を図っていけるよう、様々な研修等積極的に参加できるようにしていきます。
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	1		児童発達支援や放課後等デイサービスを利用してくださっている利用者の方に実施していることで、課題の分析はしやすいと感じています。	ニーズの把握やアセスメント（子どもの様子）をしっかり観察し支援や計画に反映していきます。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1		児童発達支援や放課後等デイサービスの計画とすり合わせをしながら計画作成をするように努めています。	今後も関わっている職員全員でお子様の支援に携わっていきます。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1		保育園では園長先生と、小学校では学校によって連絡調整を図る担当の先生を確認し、情報の回っています。また、そこから担任の先生方のご意見等もお聞きするようにしています。	単発で終わってしまう訪問支援のご利用について今後は検討していく必要があると考えています。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1		職員が少ないため共有しやすい環境にあると思います。	今後も計画を作成する際は担当の職員と一緒に考え作成していきます。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1		必要に応じてポーターや太田ステージ、WAVESなどを活用しています。	必要に応じてアセスメントを実施していきます。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1		個々に合わせた具体的な支援内容を設定するように心がけています。	支援の内容によっては、園の先生や保護者の方と話をしながら個々に応じた内容を設定していきます。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1		関わっている職員で作成に携わり意見をきき計画に反映するようにしています。	今後も支援にあたる職員と一緒に作成することで計画の共有を図っていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1		訪問前に見てきてほしいことや、確認してほしいことなどを事前に聞き取り、訪問に行くようにしています。	今後も職員が少ないメリットを生かしチームで連携して支援にあたっていきます。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1		訪問先での子ども様子を伝え、こちらからどのような助言をしたのかを踏まえ、今後の療育場面での支援に役立てています。	今後も職員が少ないメリットを生かしチームで連携して支援にあたっていきます。	
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	1		訪問先の先生方や集団の場面で邪魔にならないよう観察する位置や直接支援する場面等に配慮しておこなっています。	訪問先での先生や他のお子様の邪魔にならないよう支援をするように今後も配慮していきます。	

関係機関や保護者との連携	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	1	毎回支援の内容を記録で保護者へ確認を取るようになっています。	助言や支援をした目的等を伝え、支援や助言をしたあとの見直しを持たせられるように配慮していきます。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	保護者の方から依頼があり訪問したあと、支援の方向性を確認、共有できた場合は単発でおわることがありますが、園からの依頼や保護者の依頼等必要に合わせて判断をし、見直しをおこなっています。	訪問をしてほしいニーズをしっかりと汲み取り、訪問支援に繋げていきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	サービス担当者会議をおこなっていないお子様が多いですが、関係機関との会議等への参加は、児童発達管理責任者が行くようになっています。	今後も、日頃から療育場面で様子の確認や、保護者との話をしっかりと聞き、全利用者の把握に努めていきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	協力医療機関が同じ建物内にあるため、連携がしやすい体制となっています。また、保健師や家庭相談員さんとの連携が取れていることが強みだと考えています。	教育関係になると連携が図りにくいため、会議等があれば積極的に参加していこうと思います。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	特別支援学校とは春休みに会議の場を設けていただいています。また、必要に応じて、療育での内容や支援方法等を書面で学校へ渡してもらうこともあります。	教育委員会とのつながりをもっていくことで就学のフォローにつなげていければいいと考えています。(相談支援事業所のサービス担当者会議を開催をお願いしていきます)
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	職員の専門性を高めていくため外部研修等への研修費を負担しています。	研修にいきやすい環境を整えていきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	1	自立支援協議会に子ども部会がまだないため、町には働きかけをしましたが、町からストップがかかっている状況です。	事業所への子ども部会の声かけをしています。参加できる事業所が増えれば、設立も考えてもらえたらと思っています。
保護者等への説明等	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1	保護者同伴で療育に来られる方がほとんどなので、子どもの様子をみながら状況の説明や課題の共有がしやすいです。	今後もしっかりと保護者の方と話をしながら子どもの成長を喜んだり、ニーズを拾い上げたりしていきます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	母子同伴で来られている方が多いため、療育場面でできたことを家庭に持ち帰って実践してもらうことができている。関わりの中で難しいこと等があれば次の来所の時に伺い修正していくようにしています。	保護者に無理のない範囲で関わり方のアドバイスができたと思っています。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	保護者の方には契約の際にお伝えしています。利用者負担については無償化から切り替わるときなどにも説明をするようにしています。	保護者の方から聞かれたときにすぐに説明することができるよう全職員に運営規定や利用者負担についての把握を促していきます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1	保護者のご意向やニーズをお伝えし、支援する目的を説明するようになっています。	今後も訪問時には、必ず支援の目的や今日はその部分を支援しに来たのかを説明するよう心掛けていきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	何のために訪問をするのかしっかりとニーズを把握したうえで計画を作成するようになっています。	集団場面の中でお子様が過ごしやすい環境や分かりやすい環境を調整していくことができるよう支援していきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1	計画を書面で説明しながら口頭で説明するようになっています。	今後も目的をしっかりとご説明したうえで同意、訪問していきます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1	個別療育をご利用されている利用者様のみです。利用毎にお話しをする機会を設定しています。	話しやすい雰囲気や、相談に対応できる相談力をつけ日ごろから必要な助言ができるよう努めてまいります。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	個別療育を中心でおこなっている事業所ですので、交流等を設ける機会は数少なくなっていますが、夏休み等でみんなで何科をする機会など兄妹参加、保護者交流をかねておこなっています。	ご要望があれば機会を設けていくことも考えていきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	相談に応じ対応しています。心理士の先生や市町等に必要があればおつなぎする場合があります。	どんなご相談にも対応できるよう相談援助技術を研鑽していきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	講演会等のお知らせ等を掲示し発信しています。また定期的にHPの更新もおこなっています。	保護者様の求めている情報等をお聞きできる範囲にはなりますが発信していきたいと考えています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	HP等への掲載などは一切していません。また、同じ園のお子様同士が重なってしまう場合も保護者の方の了承をいただくことやなるべく別時間になるように配慮している場合もあります。	同じ園のお子様が増えてきた場合の顔を合わせてしまう機会が増えていくことから保護者様への説明や了承等相談していくことや、予約をとる際に気を付けていきます。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1		筆談や視覚的な絵カードからの選択等お子様にあったツールを活用しながら意思の疎通を図っています。また、保護者の方にも、メモをお渡しすることや、前日にメールで再度お知らせをする等配慮しています。	子どもや保護者の方々に合わせた情報の伝え方を配慮しながら今後も意思の疎通をおこなっていきます。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1		訪問先とお話をする時間を必ずもうけさせていただいているので、その都度ご相談にのるようにしています。	今後も、訪問日以外でも相談事等ありましたらいつでも相談に対応できるよう体制を整えていきます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1		訪問日にお話しをし次の訪問について相談するようにしています。	実施後にあらためてお時間をとってもらい話視をする時間を設定していただくのは難しいのかと思っていますが、必要であれば別日でのカンファレンスも検討していきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1		実施後の個別療育に来てくださったときに、様子や支援内容についてご説明する時間をもうけさせていただいています。	訪問での様子を伝えていくことで園の中でできることを増やしていけるよう支援していきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1		個人情報の取り扱いには十分に注意するように心がけています。	今後も留意していきます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1		相談に応じた専門的なアドバイスができるよう日々研鑽していますが、難しいときは持ち帰り後日改めて対応方法をお伝えするときもあります。	信頼して相談していただける関係性を作っていきたいと思います。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1		園での非常時の対応については把握しきれていない部分も多いです。	親子のがっこうのマニュアルの周知徹底を図っていきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		1	園の中での安全計画等について作成していませんが、必要に応じて子どもの立ち位置や安全に配慮した環境設定をお伝えしていきます。	訪問先での計画等が必要であれば作成をしていきます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1		危ない場面があったときなど気づきの共有をその日のうちにするようにしています。	話をして終わってしまっていることも多いため、再発防止にむけた方策を考えていくように留意していきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1		研修を1年に1回以上は実施しております。	引き続き研修の機会を確保していきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1		まだ記載することにはなっていませんが、基本的には同席されている保護者をお願いしています。	引き続き委員会で話し合う機会を確保していきます。